

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【公開番号】特開 2002-2118 (P2002-2118A)  
 【公開日】平成 14 年 1 月 8 日 (2002.1.8)  
 【出願番号】特願 2001-117706 (P2001-117706)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 M 5/26

C 0 9 B 29/09

C 0 9 B 45/00

C 0 9 B 67/22

G 1 1 B 7/24

【F I】

B 4 1 M 5/26 Y

C 0 9 B 29/09 C L A C

C 0 9 B 45/00

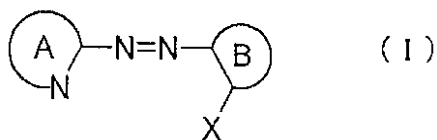
C 0 9 B 67/22 A

G 1 1 B 7/24 5 1 6

【手続補正書】  
 【提出日】平成 16 年 2 月 27 日 (2004.2.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

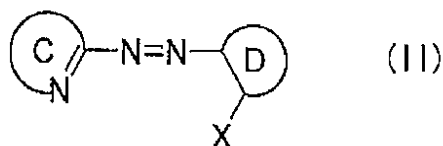
基板上に、レーザーによる書きこみ及び／または読み取り可能な記録層を設けた光学記録媒体であり、該記録層が、構造の異なる 2 以上のアゾ系化合物と、2 価以上の金属イオンとで構成されるキレート色素を含有し、  
 該アゾ系化合物が、下記一般式 (I) 及び一般式 (II) で表されるアゾ系化合物から選ばれることを特徴とする光学記録媒体。

【化 1】



( 式中、環 A は置換基を有していても良い芳香族複素環を表す。環 B は芳香族炭化水素環、芳香族複素環、またはこれらに飽和環が縮合してなる環を表し、これらはいずれも X の他に置換基を有していてもよい。X は活性水素を有する基を表す。 )

## 【化 2】



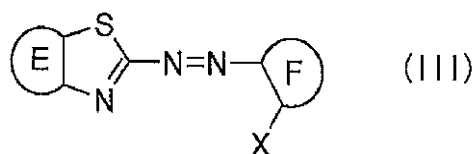
(式中、環 C は置換基を有していても良い芳香族複素環を表す。環 D は芳香族炭化水素環、芳香族複素環、またはこれらに飽和環が縮合してなる環を表し、これらはいずれも X の他に置換基を有していてもよい。X は活性水素を有する基を表す。)

## 【請求項 2】

キレート色素 1 分子中に含まれる 2 以上のアゾ系化合物が、環 A 又は環 C の環構造、及び、環 B 又は環 D の環構造の少なくともいずれか一方において互いに異なることを特徴とする、請求項 1 記載の光学記録媒体。

## 【請求項 3】

キレート色素 1 分子中に含まれる 2 以上のアゾ系化合物が、いずれも下記一般式 (III) で表される、請求項 1 または 2 記載の光学記録媒体。



(式中、環 E は置換基を有していても良い芳香族炭化水素環、あるいは置換基を有していてもよい芳香族複素環を表す。環 F は芳香族炭化水素環またはこれに飽和環が縮合してなる環を表し、これらはいずれも X の他に置換基を有していてもよい。X は活性水素を有する基を表す。)

## 【請求項 4】

該キレート色素が、記録層に複数種含有される請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の光学記録媒体。

## 【請求項 5】

記録層に含まれる全色素量に占める、該キレート色素の割合が 5 mol % 以上である、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の光学記録媒体。

## 【請求項 6】

記録層に含まれる全色素量に占める、該キレート色素の割合が 5 ~ 95 mol % である、請求項 5 記載の光学記録媒体。

## 【請求項 7】

記録層に含まれる全色素中、該キレート色素を除いた残部が、一般式 (I) および一般式 (II) で表されるアゾ系化合物から選ばれた、同一構造のアゾ系化合物のみを配位子として有するキレート色素である、請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載の光学記録媒体。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち本発明は、基板上に、レーザーによる書きこみ及び／または読み取り可能な記録層を設けた光学記録媒体であり、該記録層が、構造の異なる 2 以上のアゾ系化合物と、2 価以上の金属イオンとで構成されるキレート色素を含有し、該アゾ系化合物が、下記一般

式（Ⅰ）及び一般式（Ⅱ）で表されるアゾ系化合物から選ばれることを特徴とする光学記録媒体に存する。